

会報 あかるい街

No. 103

緑が丘地区振興福祉協議会

発行人 増田文男
 事務局 緑が丘児童・老人福祉センター
 盛岡市緑が丘3-19-18 ☎661-8236
 編集事務局 高松児童センター ☎662-0712
 印刷所 (有)セーコー印刷 ☎651-3606

緑が丘地区の魅力と課題 からまちづくりを考える

緑が丘地区振興福祉協議会

会長 増田文男

昨年十二月に市の都市計画マスタープラン「地域別構想」見直しに関する調査があり、その結果を受けた「まちづくりの方向性」及び「まちづくりの目標と基本方針」について再度の調査が行われました。このマスタープランは平成十三年に策定されましたが、平成二十一年に改訂され、本年度に見直し作業が進められているものです。

前回二十二年の見直しでは地域の魅力として利便性が高く住みやすい、歴史を感じる、地域のシンボル高松の池と美しい景観などが挙げられ、「便利で暮らしやすく、自然や歴史の豊かさを感じさせる文教のまち」としていました。また、地域の課題としては競馬場跡地の利用が見えない、まちな環境が変容してきている、コミュニティのつながりが薄らいでいる、悩みの多い道路、交通を巡る問題など「道路交通の課題や住環境対策に向けて、住民の力を集めたまちづくり」が課題でした。

この十年で、競馬場跡地の整備や北山トンネルの開通、三馬橋を通るバス運行開始等交通事情の変化、緑が丘ヒルズ等の宅地開発など、地域の状況から緑が丘地区の魅力や課題も少しずつ変化してき

ています。

二年に一回開催される「まちづくり懇談会」は新型コロナウイルス感染症の影響で今年度も中止となり、文書で回答を得る形で終わりました。今年度提出した懇談事項は、緑が丘地区で「懇談会」に対する不満の割合が他地区と比較して高く、コロナ禍で短時間設定の開催だったことから、これまでの懇談会の成果について認識が共有できるよう検証をしたいとしました。

市からは「意見要望事項」として前回平成三十年度に実施した緑が丘地区まちづくり懇談会の懇談事項の①盛岡競馬場跡地の整備について②放置空き家対策違法建築に対する行政指導の現状について③緑が丘地区の交通事情の改善について、この数年の現況と見解が回答として記されており、特に大きな前進はありませんでした。

隔年開催のまちづくり懇談会では、「緑が丘地区としての魅力と課題」を土台に、現状と改善の方向性を各町内会・自治会から出し合い、改善を積み上げその成果を共有していくことが地区協としてのまちづくりの取り組みだと感じました。

令和三年度を振り返って

緑が丘地区振興福祉協議会
事務局長 千葉和寿

新型コロナウイルス感染症の影響は、上半期は昨年同様となり、総会は、書面議決としました。各専門部の事業も中止の判断をせざるを得ない状況となりました。

八月には、きれいなまち推進懇談会を予定していましたが、コロナウイルス感染症の広がりにより延期となり、十一月に開催しました。親和会・二十日会交換会を開催することができましたが例年昼食を摂りながら懇談をしてきましたが、感染症予防の観点から懇談はなしとしました。

コロナ禍ではありましたが、すべての会を中止とするのではなく、できる対策をとりながら開催する事も必要との判断から、地区協役員会、町内会長・自治会長情報交換会を開催し各町内会の取り組み状況を知ることができました。

諸活動に多くの制限がありました。「心のかような明るく住みよい地域づくりをめざして」今後とも活動を進めて参ります。

この一年間、地区協の諸事業にご協力いただき感謝申し上げます。